大学院特別講義

（医歯学先端研究特論）（生命理工学先端研究特論）
（医歯理工学先端研究特論）

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

１．講　師　　徳島大学　名誉教授　　中野　雅徳　先生

２．演　題　　咬合学と歯科臨床

３．日　時　　平成27年10月29日（木）17：00～18：00

４．場　所　　歯科棟南4階　歯学部特別講堂

５．抄　録

平成 23 年に徳島大学歯学部歯科補綴学第二講座（坂東永一教授）の約 30 年にわたる研究と臨床の成果をまとめて「咬合学と歯科臨床」を出版し、この本に「よく噛めて、噛み心地の良い咬合を目指して」という副題をつけた。歯を道具に例えるのもどうかと思うが、「良いお道具」とは道具の持つべき基本的要件を満たしていることが大前提で、さらに体格や癖など使い手の個性に合わせる必要がある。ただし、良い道具であっても、得てして下ろしたては多少馴染が悪いが、使っているうちにしっくりくるというものである。この「しっくりさ」というのは、基本的要件である理想の形よりほんの少しだけ遊び（ゆとり）を持った状態であるように思われる。馴染むまでの時間が短ければ短いほど、使い手は満足し、それが補綴物であって治療後すぐならば、患者は歯科医師を名医と思う。咬合の基本的要件である5要素から外れた補綴物は、よく噛めないし、噛み心地も悪いはずである。

連絡先：　三浦　宏之（岡田　大蔵）（摂食機能保存学分野　内線5521）